

# 相馬野馬追収蔵資料展

令和4年（2022）7月9日（土）→9月25日（日）

## 「栗色塗縦矧矧二枚胴具足」～奥州中村藩主相馬家の甲冑か～

今春新発見されたばかりのこの甲冑は、鉄板を縦に矧ぎ合わせ、表面に栗色の漆を塗った二枚胴（前後2枚に分かれる胴）です。当地方を治めた中村藩主相馬家の家紋2種「九曜紋」「亀甲に花角（相馬亀甲）紋」が各部に見られることから、同家所用の甲冑と考えられます。

亀甲に花角紋は、寛保2年（1742）頃から相馬家が使用し始めた家紋です。時代によって亀甲の種類が一重～三重の3つのバリエーションがあり、この甲冑には二重の亀甲が用いられています。

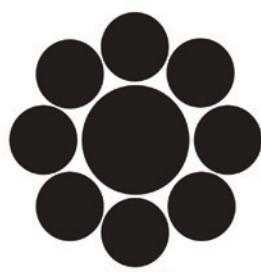
所用者は不明ですが、亀甲に花角紋が使用され始めた以降であることや、甲冑の作りから、江戸時代中期～後期に作られたものと考えられます。

### 甲冑に見られる2つの家紋



### 甲冑各部に見られる相馬家の家紋

左：胴正面 右上：兜の吹返 右下：兜の鞆



九曜紋



亀甲に花角紋  
(相馬亀甲)

これらの紋章を併用する大名家は、奥州中村藩主相馬家のみであることから、本甲冑は相馬家で所用されたものと考えられます。



栗色塗縦矧矧二枚胴具足  
江戸時代中期～後期 個人蔵

## 「栗色塗縦矧二枚胴具足」をもう少しづわしく

今回新発見された「栗色塗縦矧二枚胴具足」には、中村藩主相馬家の家紋2種が、兜・胴・袖の各部に金具や金箔で表現されています。総体的に派手さはありませんが、兜頂部のハ幡座・兜の襷・胸板・袖に見られる飾り金具や、兜・胴(障子板・胸板・脇板・押付板)・袖の縁にみられる毛彫りが施された覆輪(金具で縁を覆う技術)などの装飾は相応の丁寧な作りであり、技術水準の高さを感じます。前胴の中心部・後胴の左腰部・兜の左前面に、火縄銃による試し撃ち痕がみられ、甲冑の頑丈さを試したことがわかります。

胴は、中央に鎧を立てた縦矧胴(鉄板を縦につないで形成した胴)で、比較的高い胸板をもつ特徴があります。これは、相馬家伝来と考えられる甲冑(次ページ写真④⑤)と共通する形状です。



相馬家の「九曜紋」「亀甲に花角(相馬亀甲)紋」が観察されるパート(兜・袖・胴)

## 野馬追で使用されていた痕跡

明治時代以降の野馬追では、騎馬武者の役職・氏名を示すため、左肩に「肩印」という布を付ける独特的な慣習があり、本甲冑にも、左側の袖だけに肩印を付けるための紐罠が付属しています。これは、この甲冑が明治時代以降の野馬追で使用されていたことを示すと同時に、かつて相馬地方に存在していたことを示す証拠ともいえます。

野馬追は甲冑を“実用品”として身に着ける祭礼で、激しい動きや雨風などの悪天候によって、甲冑を傷めることはよくあります。特に腕・脚など、頻繁に可動する部位を覆う小具足類(面頬、籠手、佩楯、臑当など)は消耗しやすい部分であり、本甲冑の小具足等も消耗・損壊したためか、後世に補修された痕跡や交換されたパートが多く見られます。



左袖にのみ付属する紐罠  
(点線囲部)



肩印を付けた例  
(総大将・相馬行胤氏)  
2020年7月25日撮影

# 中村藩主相馬家ゆかりの甲冑

今まで知られている中村藩主相馬家ゆかりと考えられる甲冑は、今回発見された「栗色塗縦矧二枚胴具足」以外に、下図のとおり6領（うち4領が現存）あります。それらの多くに、歴代藩主が使用した「九曜紋」「亀甲に花角紋（相馬亀甲）」や、5代藩主相馬昌胤が使用した「反亀甲に十八弁菊紋」「反亀甲に揚羽蝶紋」等、中村藩主相馬家の家紋が付属しています。

※本頁の甲冑は、④以外パネル展示です



①朱漆塗萌黄糸威横矧五枚胴具足  
相馬市指定文化財 相馬和胤氏蔵



②黒漆塗本小札緋糸威二枚胴具足  
相馬市指定文化財 相馬和胤氏蔵



③黒漆塗白糸素懸威異形胴具足  
佐川広直氏蔵



④黒漆塗縦矧五枚胴具足  
個人蔵



⑤伝・相馬義胤(相馬氏16代)の甲冑  
昭和3年(1928)撮影  
ガラス原版:馬場行氏蔵



⑥相馬義胤(相馬氏18代・中村藩2代)の甲冑  
『東北遺物展覧会記念帖』  
(1933年出版 個人蔵)より転載

# 野馬追ポスター

野馬追ポスターで今のところ確認できる最古のデザインは、終戦直後の昭和 22 年（1947）のもので（『福島民友』同年 7 月 4 日付）、当時は、地元や中央で活躍した画家が描いた騎馬武者の絵画が多く用いられています。その後、昭和 40 年代あたりから現在のように写真が使用されてきたようです。

歴代のポスターを振り返ると、今まで何度か変更されてきた日程の変遷をはじめ、それぞれの時代のデザイン、その時代ならではの光景、なつかしの国鉄の観光キャンペーンフレーズなどを楽しむことができます。

## 昭和～平成期の野馬追ポスター



昭和 32 年（1957）



昭和 35 年（1960）



昭和 40 年（1965）



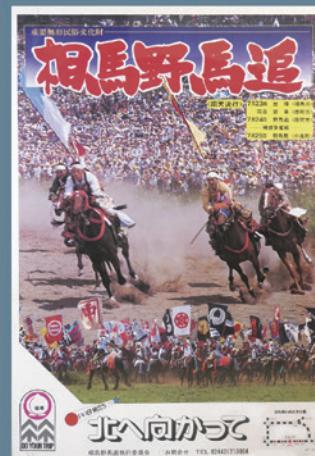
昭和 45 ~ 48 年頃  
(1970 ~ 73 頃)



昭和 49 年（1974）



昭和 52 年（1977）



昭和 53 年（1978）



昭和 57 年（1982）



昭和 58 年（1983）



昭和 61 年（1986）



昭和 62 年（1987）



平成元年（1989）

